

令和4年度シラバス（地歴）

学番 28 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科（科目）	地理歴史（日本史A）	単位数	2	学年	2 学年
使用教科書	日本史A 現代からの歴史(東京書籍)				
副教材等	なし				

1. 学習目標

近代社会の成立と発展の過程に重点をおいて学習し、国際社会のなかで、自ら学び主体的に考え対応していく力の育成をはかる。

2. 指導の重点

細かい事象にとらわれすぎずに、全体的な流れをおさえ、近現代史に対する基本的事項の理解を深めるようにする。

3. 指導計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	序章 私たちの時代と歴史	教科書 学習プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちと歴史の結びつき ・ 私たちの時代 ・ 開国までの歩み ・ 近代の幕開け 	現代の日本について学ぶ。	4	授業への取り組みと定期考査
5	第1章 近代日本の形成	教科書 学習プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際情勢の変化と明治維新 ・ 明治新政府の諸改革 ・ 立憲国家の成立 	江戸幕府の滅亡と世界の動向を理解する。	7	授業への取り組みと定期考査(第1回考査)
6		教科書 学習プリント		明治政府の政策と外交について理解を深める。	7	授業への取り組みと定期考査
7	第2章 東アジア	教科書 学習プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日清戦争と近代社会の確立 ・ 日露戦争と帝国日本の形成 	自由民権を運動と日本の帝国主義政策を理解する。	7	授業への取り組みと定期考査(第2回考査)
9	世界の變動と日本	教科書 学習プリント		内政と外交を関連づけて理解する。	7	授業への取り組みと定期考査
10	第3章 2つの大戦と日本	教科書 学習プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦と帝国日本 ・ 政党政治の時代 ・ 軍国日本への道 ・ 太平洋戦争 	日露戦争から第一次大戦までの流れを理解する。	7	授業への取り組みと定期考査(第3回考査)
11		教科書 学習プリント		政党政治とその終焉、さらに軍国主義への流れについて理解を深める。	7	授業への取り組みと定期考査
12	第4章 第二次世界大戦後の国際社会と日本	教科書 学習プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代世界の開幕と日本の戦後改革 ・ 高度経済成長の時代 	戦後日本の再建について学習する。	7	授業への取り組みと定期考査(第4回考査)
1		教科書 学習プリント			7	授業への取り組みと定期考査

2	第5章 現代の世界と日本	教科書 学習プリント	・国際秩序のゆらぎと経済大国日本 ・冷戦の終焉と日本	冷戦構造と日本の経済成長を理解する。	6	授業への取り組みと定期考査(第5回考査)
3		教科書 学習プリント		戦後経済史の流れを理解する。	4	授業への取り組み

計 70 時間 (50 分授業)

4. 課題提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ・各單元ごとの学習プリントを提出。 ・定期テストの後に板書事項をまとめたノートを提出。
--

5. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
○ 近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、歴史上の諸課題について問題意識を持って意欲的に追究している。	○ 近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。 ○ 諸課題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、国際社会の変化を踏まえて公正に判断している。	○ 近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができる。 ○ 資料や情報を効果的に活用することを通して歴史的事象について追究する学び方を身に付けている。	○ 近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な知識を身に付けている。 ○ 近現代史を中心とする世界の歴史について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。
【評価方法】考査の点数 ・課題提出・授業態度	【評価方法】考査の点数 ・課題提出・授業態度	【評価方法】考査の点数 ・課題提出・授業態度	【評価方法】考査の点数 ・課題提出・授業態度

以上の観点を踏まえ評価する。

6. 担当者からの一言

<ol style="list-style-type: none"> ① 日本の歴史は、世界の歴史と関連して展開していることを歴史的事実を通して、理解してください。 ② 国際化が進行する中で、日本が果たすべき役割や自分の生き方について、主体的に考える力を身につけてください。
